

六甲全山縦走路（須磨浦地区）整備委託業務
特記仕様書

必須事項（項目）	内容（記載例）
1. 契約の方法種類	契約は、総価契約による「委託契約」とする。 履行方法は、一括履行による。
2. 総則	(1) 本特記仕様書は、「六甲全山縦走路（須磨浦地区）整備委託業務」（以下「本業務」という）に適用する。 (2) 本特記仕様書に定めのない事項は「神戸市測量・地質調査・設計業務等共通仕様書」、「神戸市土木工事請負必携」に定めるものとする。これらに明記されていない事項については、本市担当者と協議して決める。 (3) 本市からの入手資料や業務で作成した資料等、業務により知り得た情報の一切は、業務完了の時点を持って、返却すること。ただし、本市から許可を得た場合はこれに該当しない。 (4) 受注者は、作業中に生じた諸事故に対してその責任を負い、事故の発生や、損害賠償の要求があっても、本市はその責任を負わないものとし、受注者において処理すること。
3. 業務概要	本業務は、須磨エリアの六甲全山縦走路について、利用活性化を目的に、安全、快適に歩行することができるよう環境整備を行うものである。これに伴う、調査、整備計画、実施設計、施工を行うものとする。
4. 契約期間	契約締結日翌日から令和6年3月22日までとする。
5. 履行場所	神戸市須磨区一ノ谷町他（六甲全山縦走路（須磨浦公園駅～須磨区高倉台、他）（別紙位置図参照）
6. 技術者	(1) 管理技術者（共通仕様書第9条第3項）の業務経験等 ・ 土木・公園工事、森林整備作業に係る設計及び施工に十分な技術と経験を有するもの。 (2) 照査技術者（共通仕様書第10条第2項(3)）の業務経験等（照査技術者を定める場合） ・ 土木・公園工事の設計及び施工に十分な技術と経験を有するもの。

7. 関係仕様書及び準拠すべき図書	<p>(1)「神戸市測量・地質調査・設計業務等共通仕様書」(令和4年2月2日) https://www.city.kobe.lg.jp/a48501/business/todokede/kensetsukyoku/work/sekkei.html</p> <p>(2)「神戸市土木工事請負必携」(令和4年4月改訂版) https://www.city.kobe.lg.jp/a48501/business/todokede/kensetsukyoku/work/hikkei.html</p> <p>その他、関係法令及び通達</p>								
8. 業務内容	別紙「業務内容詳細」参照								
9. 成果品	<ul style="list-style-type: none"> 調査報告書 1部 (ファイル綴じ。下記の内容を含むこと。電子データを含めること。) 登山道施設台帳 1部 (ファイル綴じ。同内容を上記報告書にも含めること。電子データを含めること。) <table border="1" data-bbox="357 651 1254 1178"> <thead> <tr> <th data-bbox="357 651 644 696">業務段階</th> <th data-bbox="644 651 1254 696">登山道整備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="357 696 644 795">整備計画</td> <td data-bbox="644 696 1254 795"> 整備方針 平面図 (施工箇所図) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 795 644 987">実施設計</td> <td data-bbox="644 795 1254 987"> 平面図 (施設整備・撤去) 施設詳細図 (整備・撤去) 使用材料説明書 数量計算書 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 987 644 1178">施工</td> <td data-bbox="644 987 1254 1178"> 完成図 (整備・撤去) 施工写真 品質規格証明資料 (必要に応じて) 登山道施設台帳 </td> </tr> </tbody> </table>	業務段階	登山道整備	整備計画	整備方針 平面図 (施工箇所図)	実施設計	平面図 (施設整備・撤去) 施設詳細図 (整備・撤去) 使用材料説明書 数量計算書	施工	完成図 (整備・撤去) 施工写真 品質規格証明資料 (必要に応じて) 登山道施設台帳
業務段階	登山道整備								
整備計画	整備方針 平面図 (施工箇所図)								
実施設計	平面図 (施設整備・撤去) 施設詳細図 (整備・撤去) 使用材料説明書 数量計算書								
施工	完成図 (整備・撤去) 施工写真 品質規格証明資料 (必要に応じて) 登山道施設台帳								
10. 電子納品	<p>本業務は神戸市簡易版電子納品の対象業務とし「神戸市電子納品運用指針 (簡易版) (案) R3.4」に基づいて作成するものとする。</p>								

11. 担保期間	完成検査合格の当日より 12 箇月
12. 貸与品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象登山道の施設台帳（「令和元年度 ハイキング道調査・台帳修正業務その1 六甲全山縦走路 区間 05-150」） <p>貸与期間については、本市担当者と協議すること。</p> <p>その他、業務に必要な本市所有の関係資料は、協議の上（所定の手続きによって）貸与する。</p>
14. その他 （明示が必要な設計条件等）	<p>(1) 打合せは、初回、整備計画時中間、完了時、実施設計完了時、最終（業務完了時）の計 5 回とする。</p> <p>(2) 必要に応じて関係機関及び地元との協議に係る資料を作成すること。</p> <p>(3) 工事着手にあたっては地元への説明が必要になる場合がある。</p> <p>(4) 作業現場への車の進入については、必要に応じて、地元と調整を行うこと。</p> <p>(5) 必要な書類については、神戸市 HP「測量・地質調査・設計業務等の実施」→「提出様式」を参照すること。</p> <p><https://www.city.kobe.lg.jp/a48501/business/todokede/kensetsukyoku/work/sekkei.html></p> <p>(6) 施工にあたっては、神戸市工事請負必携に従うものとする。</p> <p>(7) 施工に係る書類については、神戸市土木工事書類作成マニュアルに従うこと。また、同マニュアルに基づき、上記以外にも提出を指示することがある。</p> <p><https://www.city.kobe.lg.jp/a48501/business/todokede/kensetsukyoku/work/youshiki.html></p> <p>(8) 環境への配慮（環境マネジメントシステム）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸市では、調達すべき環境物品等や環境配慮型契約の種類や調達目標を「神戸市グリーン調達等方針」として定めている。本業務においても「神戸市グリーン調達等方針」を反映することとしているので、趣旨を理解の上、環境物品等の調達及び環境配慮型契約に努めること。 <p><https://www.city.kobe.lg.jp/a36643/shise/kekaku/kankyokoku/green.html></p> <p>(9) ウィークリースタンスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務はウィークリースタンスの推進の対象業務とし、受発注者間で以下の通り目標を定め取り組むものとする。 ・ 受発注者は、ウィークリースタンス推進チェックシートを作成し初回打合せにおいて受発注者間で取り組み内容を定めるものとする。 ・ 「ウィークリースタンス」とは、業務を円滑かつ効率的に進めるため、受発注者間における仕事の進め方として、1 週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより業務環境等を改善し、より一層、魅力ある仕事、現場の創造に努めることを目的としているものである。 ・ チェックシートは下記の URL を参照。 <p><http://www.city.kobe.lg.jp/business/regulation/construction/work/sekkei.html></p>

業務内容詳細

1. 業務概要

- ・ 業務対象施設は、六甲山系の中でも特に利用者の多い登山道である。地元の登山会による毎日登山が活発に行われ、また、須磨と宝塚を結ぶ六甲全山縦走路の起点に当たる場所である一方、須磨山上遊園等の観光施設に近いことから、様々なレベルのハイカーや観光客が訪れる。
- ・ 利用活性化を目的に、多様な利用者がハイキングを楽しめるよう登山道の整備を行う。
- ・ 上記整備に伴う、下記の業務を行うものとする。
 - (1) 現地調査
 - (2) 整備計画
 - (3) 実施設計
 - (4) 施工
 - (5) 報告書作成

2. 業務方針

- ・ ハイキング初心者や観光客でも、六甲全山縦走やこの地域の景観、自然環境、歴史等の魅力を楽しむことができ、また、その安全性を確保することを目的に登山道を整備する。
- ・ 神戸登山プロジェクトの趣旨を基に、利用者の目線でこの地区の特徴を楽しむことができる整備内容とする。

【参考】

○神戸登山プロジェクト

- ・ 神戸は六甲山系や丹生山系、そのほか多様で個性的な魅力ある山に囲まれている。近代登山発祥の地であり、早朝登山を楽しむ市民の「毎日登山」文化も育つなど、「神戸」と「登山」の関わりはとても深い。
- ・ 現在、「自然に回帰した余暇の過ごし方」が注目され、登山を楽しむ方も増えている一方で、登山を十分に楽しむ環境が整っていない現状がある。
- ・ 神戸の財産ともいえる「登山」を楽しむ環境を向上させることで、登山を楽しむ市民の増加、また来街者の増加を目指す取組みを進める。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a64051/shise/kekaku/kezaikankokyoku/rokkomaya/tozanproject.html>

○六甲全山縦走路

- ・ 六甲山系は神戸や阪神間、また大阪府内からの天然のランドマークともなっており、神戸市民にとって貴重な財産となっている。
- ・ その尾根伝いに神戸市須磨区から宝塚市まで連なる登山道は、「六甲全山縦走路」と位置付けられ、多くの人に利用されている。

- ・ 毎年、市主催の「KOBE 六甲全山縦走大会」が行われ、全国から参加者が集まる。また、登山会等様々な団体も同様の縦走大会を実施している。

○須磨浦地区の山の主な特徴

- ・ 風光明媚な海の風景は古来より有名で、源氏物語や百人一首等古典の文学作品の舞台にもなっている。全山縦走路のコースでは、須磨山上遊園（鉢伏山）、旗振山、鉄拐山などの展望スポットから大阪湾を一望できる。
- ・ 前述の古典文学の他、源平合戦（一ノ谷の合戦）、旗振山、松尾芭蕉の俳句等、歴史上の舞台に触れることができる。
- ・ 海岸性の急斜面の見られるウバメガシを主体とした群落が広がり、六甲山系においてこの地区独特の森林が広がる。

3. 業務範囲

- ・ 別紙「位置図」、「整備参考図」参照

4. 業務詳細

(1) 現地調査

- ・ 作業範囲を踏査し、別紙「位置図」、「整備参考図」を参考に、要改修箇所を調査し、整備内容を検討すること。
- ・ 既存の施設について配置及び劣化度を調査すること。（別紙「登山道施設台帳作成要領」参照）

(2) 整備計画

- ・ 上記を踏まえ、整備内容を整理すること。
- ・ 別紙「位置図」、「整備参考図」に記載されている内容については全て整備を行うものとする。その他、利用者の目線で、調査、計画を行い、より快適な登山道となるような整備内容を提案すること。
- ・ 関係団体（須磨浦公園・須磨寺公園管理者、須磨山上遊園管理者、登山会等）と必要な調整を行うこと。
- ・ 本市担当者の承認を受けること。

(3) 実施設計

- ・ 施工に必要な実施設計を行うこと。
- ・ 必要に応じて、関係団体（須磨浦公園・須磨寺公園管理者、須磨山上遊園管理者、登山会等）と調整を行うこと。
- ・ 本市担当者の承認を受けること。
- ・ 関係機関への届出等（風致、緑地の保全に係る規制等）が必要な場合は、本市担当者調整し、手続きに必要な書類を作成すること。また、調整結果を必要に応じ設計に反映すること。

(4) 施工

- ・ 実施設計に基づき、施工すること。

(5) 報告書作成

- ・ 上記の内容を取りまとめること。
- ・ 現地調査結果と施工内容を合わせて、登山道施設台帳に取りまとめること。(別紙「登山道施設台帳作成要領」参照)

5. 注記

- ・ 設置する施設の構造については本市担当者と協議の上、決定することとする。
- ・ 設置する施設については、基本的に擬木、金属等耐久性のある材料を使用する。協議により、防腐処理を行った木材を用いることも可能とする。また、周囲の景観を損なわない仕様とすること。
- ・ 設置するサイン（案内板、道標、矢羽根式道標等）の仕様については、「神戸らしいまちなかサインガイドライン」に従うこと。(別紙参照)

5 まちなかサイン個別仕様

5-1 観光・散策系サイン

(1) 基本的な考え方

- ・ 観光や自然、まちなか散策を楽しむ方々が、円滑に目的地に達する案内に加えて、そのルート上の観光情報、修景スポット、休憩施設等の情報提供により楽しむことができるよう設置する。
- ・ 設置するサインの種類と設置の考え方は、以下を基本とするが、それぞれの目的や地域性を踏まえて管理者が設置位置の考え方を整理すること。
- ・ 同一ルート上で所管部局が異なるものが、設置される場合は、関係部局での調整を図り統一ルールを定め、共有を図ること。

種別	例	設置位置の考え方
誘導 (道標)		歩行開始地点（鉄道駅、バス停、駐車場、登山口等） アクセスルートの主要な分岐点 長い一本道の間差点
案内図		歩行開始地点（鉄道駅、バス停、駐車場、登山口等） 複数路線が交差する主要な分岐点
解説		自然、文化資源等に関する興味地点等 ※案内図標識が設置され、統合が可能な場合はそれに組み込む
注意		歩行開始地点、通行の危険となる地点 ※案内図標識が設置され、統合が可能な場合はそれに組み込む

<散策ルート>

自然散策	六甲山・摩耶山登山道（上野道、青谷道、天狗道ほか）
歴史散策	西国街道（東灘区～垂水区）、
地域資源をつなぐ散策	酒蔵の道（東灘区、灘区）

灘区一万歩ロード（灘区）
 なぎさ街道（垂水区）
 田園めぐりのみち（西区）
 疎水散策のみち（西区） など

(2) デザイン

- ・ 散策ルートの目的や地域性に合致したデザインとすること。
- ・ 同一エリア・ルート内では、散策中のどこでも同じ雰囲気が感じられるよう、同一のデザインとすること。

×同じ散策ルート上だが、管理者が異なり統一感、情報の連携がない（布引エリア散策案内）



地域団体からの寄贈

文化スポーツ局

水道局

建設局

×同じ周遊ルート上で、整備年度の違い等によってデザインが異なる



<六甲山系のハイキング道の独自ルール（建設局森林整備事務所）>

六甲山のハイキング道については、環境省の定める六甲山トレイルに関する共通ルール骨子案を参考に次のとおり定めている。

各局において、六甲山に設置する際は、これに従うこととする。

1) 案内図のデザイン

環境省瀬戸内国立公園案内図にならい、これと統一的なデザインを基本とする。



環境省瀬戸内国立公園案内図



例① 既存の枠を活かしての更新



例② 老朽化したものを新設更新

2) 道標デザイン案

色彩	地色はこげ茶色、字色は白色を基本とする。	
文字フォント	山中（ハイキング道）については、丸ゴシックで統一する。 距離表示、英語表記については半角とする。 フォント候補：ヒラギノ丸ゴシック・ヒラギノ UD 丸ゴ（W4・W5）	
文字の大きさ	日本語 25mm	英文字は環境省方針に合わせて 15mm
文字の位置（縦）	表示3段	2段目の中心を看板のセンターに揃え、1段目の上端と3段目の下端は看板の端から等間隔のスペース（25mm程度）を空ける。距離の近い行先から順に表記する。
	表示2段	1段目と2段目は、表示3段と同じ位置。3段目だけ削除
	表示1段	矢印とセンターを揃える（※）
文字の位置（横）	矢羽の中心部（左翼の終点、右翼の始点）は、基本的に支柱部分には表記しない。 矢印・距離表示との間は、全角1文字分を空ける。 ただし、文字数が多い場合は全体のバランスを考えて縮める。	
トイレのピクト	白黒表示とし、行先（矢羽）に表示可能な場合は追記する。	
矢印デザイン	非常灯に用いられているデザイン（JIS）とする。	



標準的な道標（矢羽根）表示



標準的な道標（矢羽根）表示

<参考>六甲山トレイルに関する共通ルール骨子(要約)

1. 位置づけ

六甲山のトレイル標識については、国・県・市、関係団体など多様な主体による整備・管理状況を踏まえ、分かりやすい情報提供や六甲山らしい統一感の醸成等の観点から共通ルールを検討する。なお、当該ルールについては、関係機関に過大な負担を強いることがないように必要最小限の内容となるよう留意し、標識設置の際に踏まえるべきベースライン（必要最小限の事項）を定めるものとする。また、当該ルールについては、今後改訂予定の国立公園管理運営計画への反映も想定する。

2. 対象

分かりやすい情報提供や統一感の醸成等の観点から、ルール策定の必要性が高い誘導標識、案内図標識、解説標識、注意標識を対象とする。

3. 設置の考え方

- ・ 六甲山中には 100 を超えるトレイルが網目状に存在し、様々なトレイルが合流・分岐する。六甲山のトレイルを安全に楽しむため、分岐点には必ず誘導標識を配置するとともに、分岐点以外にも利用実態に応じて適正な間隔で誘導標識を配置する。
- ・ 六甲山のトレイル利用の起点としては、登山口だけではなく、鉄道駅やバス停等からの利用が多い。そのため、登山口及び交通拠点となる鉄道駅等に案内図標識を配置する。また、登山口までアクセスルート の分かりにくさを解消するため駅等から登山口までの間の主要な分岐点等にも誘導標識を配置する。
- ・ 近隣に同機能の標識が重複することは避ける。また、機能が異なる標識が複数存在する場合は集約について検討する。

サイン種別ごとの設置位置や間隔の考え方

種別	設置位置や間隔の考え方
誘導標識 (道標)	歩行開始地点 鉄道駅、バス停、駐車場、登山口等 ※ただし、案内図標識が設置される場合はその標識に組み込む ・ アクセスルートの主要な分岐点 ・ 歩道の分岐点、不明瞭な箇所 踏み跡が派生する箇所等 ・ 長い一本道の間差点ルート確認のため「等距離」を目安に設置する ※山馴れない利用者が多いルート トレイル満喫プランにおける「散策路」等では密に配置するなど利用実態を踏まえ効果的な配置に留意する。
案内図標識	歩行開始地点 鉄道駅、バス停、駐車場、登山口等 複数路線が交差する主要な分岐点

解説標識	自然、文化資源等に関する興味地点等 ※ただし、案内図標識が設置される場合はその標識に組み込む
注意標識	歩行開始地点 登山口等 ※ただし、案内図標識が設置される場合はその標識に組み込む ・利用上危険となる可能性が有る地点等

4. 表示内容、用語の統一と多言語対応

- ・ 六甲山を初めて訪れた利用者にも分かりやすいよう、標識に表示する地名・ルート名等については、外国語表記を含め統一を図る。(例:「徳川道」と「杣谷道」等)
- ・ 使用する言語は、日本語と英語の2ヶ国語表記を基本とする。
- ・ トレイルや場所毎の外国人利用の特性を踏まえ、必要に応じて中国語(簡体字)、韓国語等を加えて表記する。特に、地図の凡例や注意標識については重要な情報であるため、英語以外の表記を検討する。あわせてピクトグラムの積極的な活用を図る。
- ・ 複数言語を表記することにより視認性が損なわれることが無いよう留意する。必要に応じてQRコードやARアプリ等の情報通信技術を活用し、標識板面には掲載しきれない言語での情報の提供について検討する。
- ・ 地名・ルート名及び多言語表記の統一化については、参考資料 3「地名等の統一多言語表記案の作成」を参照する。
- ・ ピクトグラムは、「自然公園等施設技術指針第7章公共標識(サイン類)」における「多言語対応のピクトグラム」「自然公園独自のピクトグラム」等を参照する。

【表示事項】

種別	主な表示事項	表記文字の種類(原則)
誘導標識 (道標)	地名、施設及び景観資源等の名称、 方向、必要に応じて距離・ルート名	日本語+英語(主要なルート) 必要に応じてピクトグラム
案内図標識	(地図部分) 主な地名、施設及び景 観資源等の位置、名称、現在地、ス ケール、方位、必要に応じて距離・ 所要時間・ルート名	表題部分: 日・英(中・韓) 地図部分: 日本語+英語(主なもの) 凡例部分: 日・英(中・韓) 説明部分: 日本語+英語 必要に応じてピクトグラム ※日本語以外の説明文は原則として要 約
解説標識	解説対象の図及び写真、説明文	日・英(中・韓) ※日本語以外の説明文は原則として要 約
注意標識	注意・警戒、禁止、フィールド、マ ナー	日・英(中・韓) 必要に応じてピクトグラム

5. 規模・色彩

- ・ 標識の本体色は、自然の素材の色又は焦げ茶色を基調として統一する。
- ・ 誘導標識の表示面については地は焦げ茶色、文字は白色を基本とする。
- ・ 標識の構造は、設置箇所の景観スケールや視線方向等を考慮し、過大な規模とならないようにする。

6. 管理者の表示

- ・ 設置者及び情報が作られた時点の年月日（特に案内図標識）の表示を行う。

7. その他（検討・調整事項）

- ・ 安全確保及び分かりやすい情報提供の観点から、以下の事項については、関係機関で検討・調整を図る。

【消防通報プレートの活用】

- ・ 六甲山全域の標識に通報プレートを追加することで、遭難対応を強化するとともに、セルフガイドマップと連携した情報提供を図る。

【路線の色分け・ナンバリング等による分かりやすさの向上（地名によらない案内誘導の強化）】

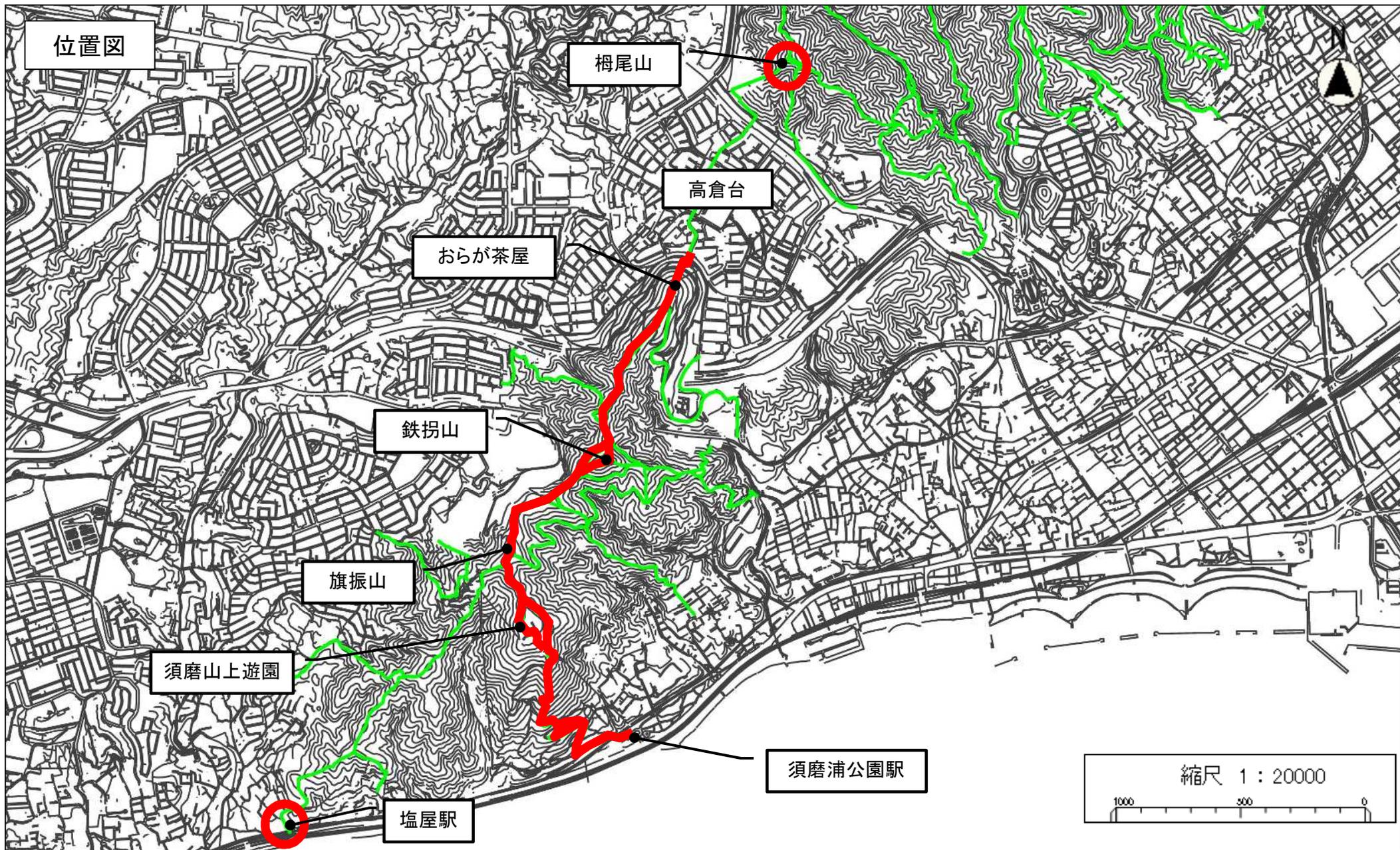
外国人観光客をはじめ、誰もが分かりやすく安心してトレイルを利用するため、散策路や散策エリア、主要なルートについては、アルファベットや番号、色を付与することを検討する。

【アイキャッチ等】

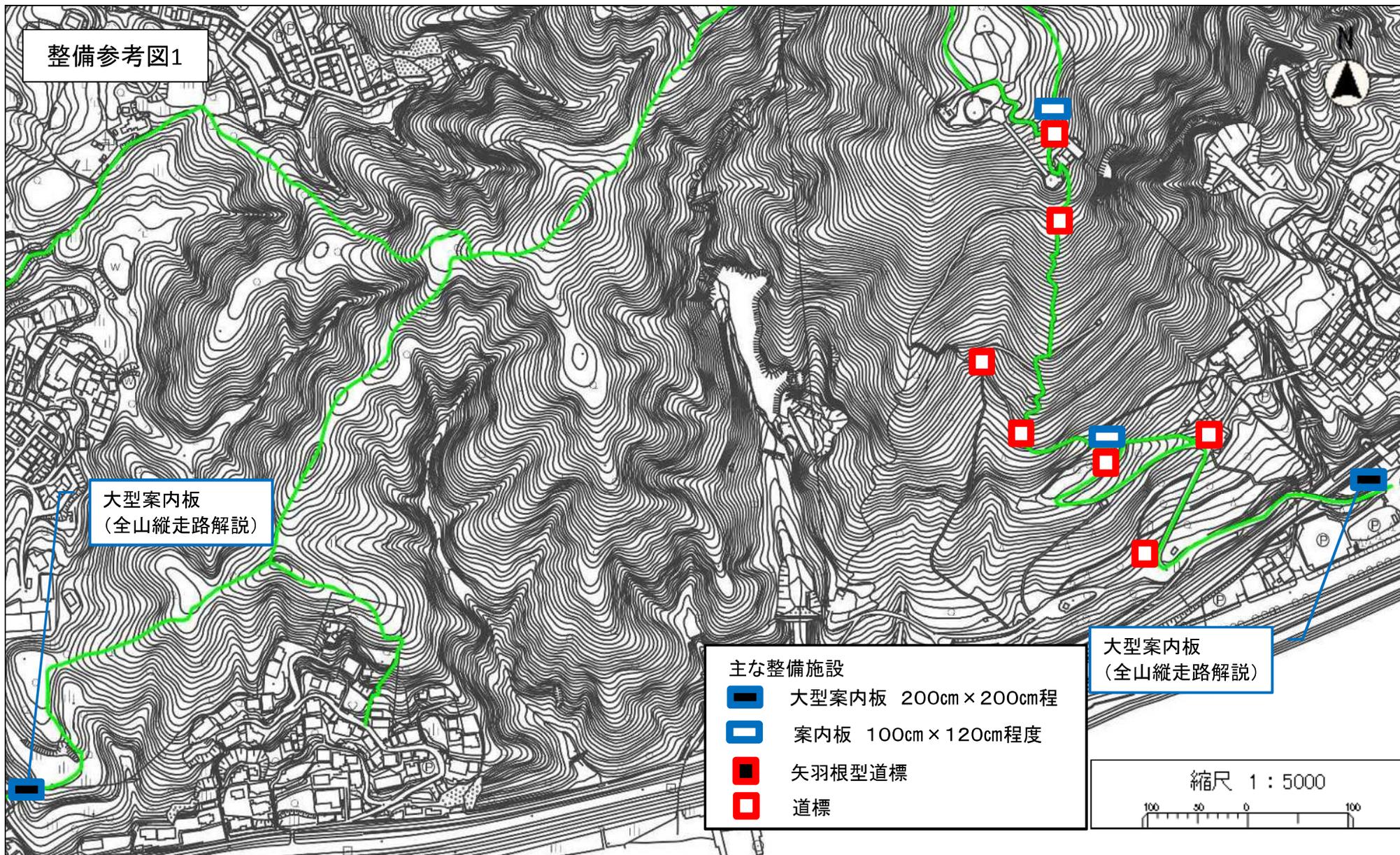
- ・ 六甲山トレイルの標識の統一感を醸成するため、アイキャッチやロゴマークの表示についても検討する。

【マップとの整合】

標識の地図情報等については、関係機関が作成するマップ等との整合を図り、適宜見直す。



整備参考図1



整備参考図2

階段杭撤去

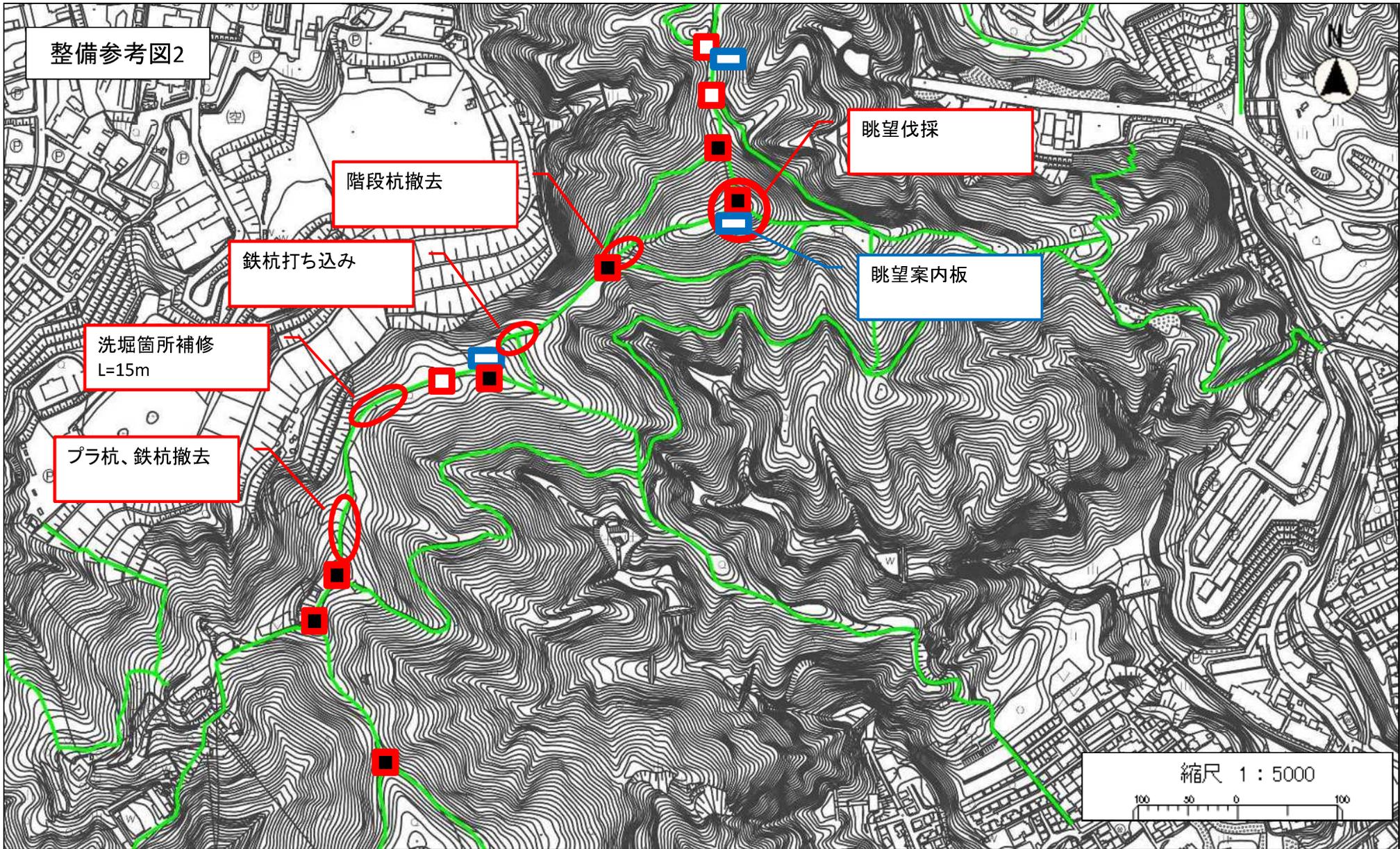
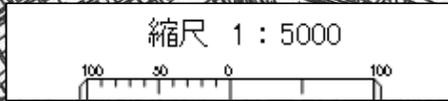
鉄杭打ち込み

洗堀箇所補修
L=15m

プラ杭、鉄杭撤去

眺望伐採

眺望案内板



整備参考図3

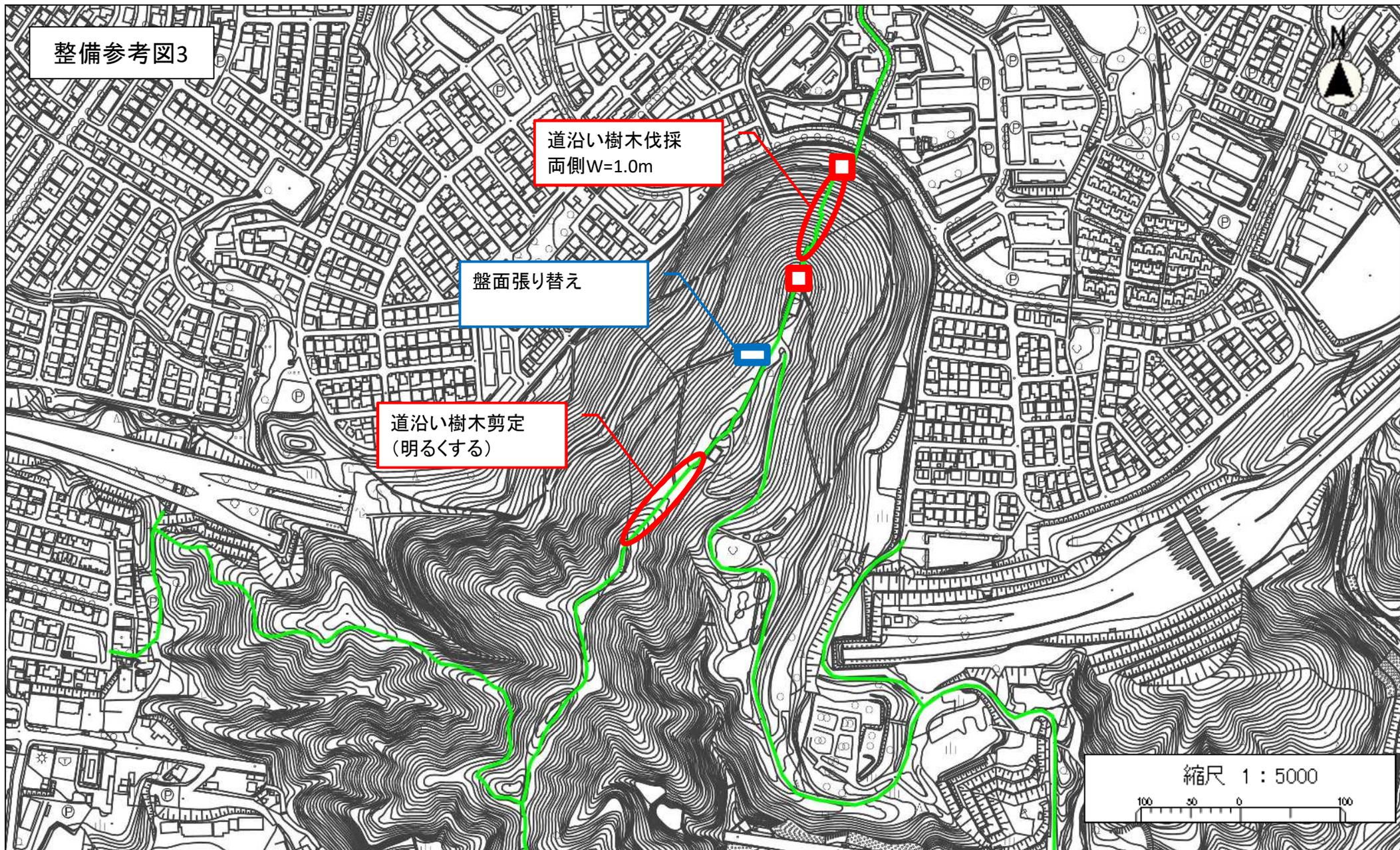
道沿い樹木伐採
両側W=1.0m

盤面張り替え

道沿い樹木剪定
(明るくする)

縮尺 1 : 5000

100 50 0 100



整備参考図4

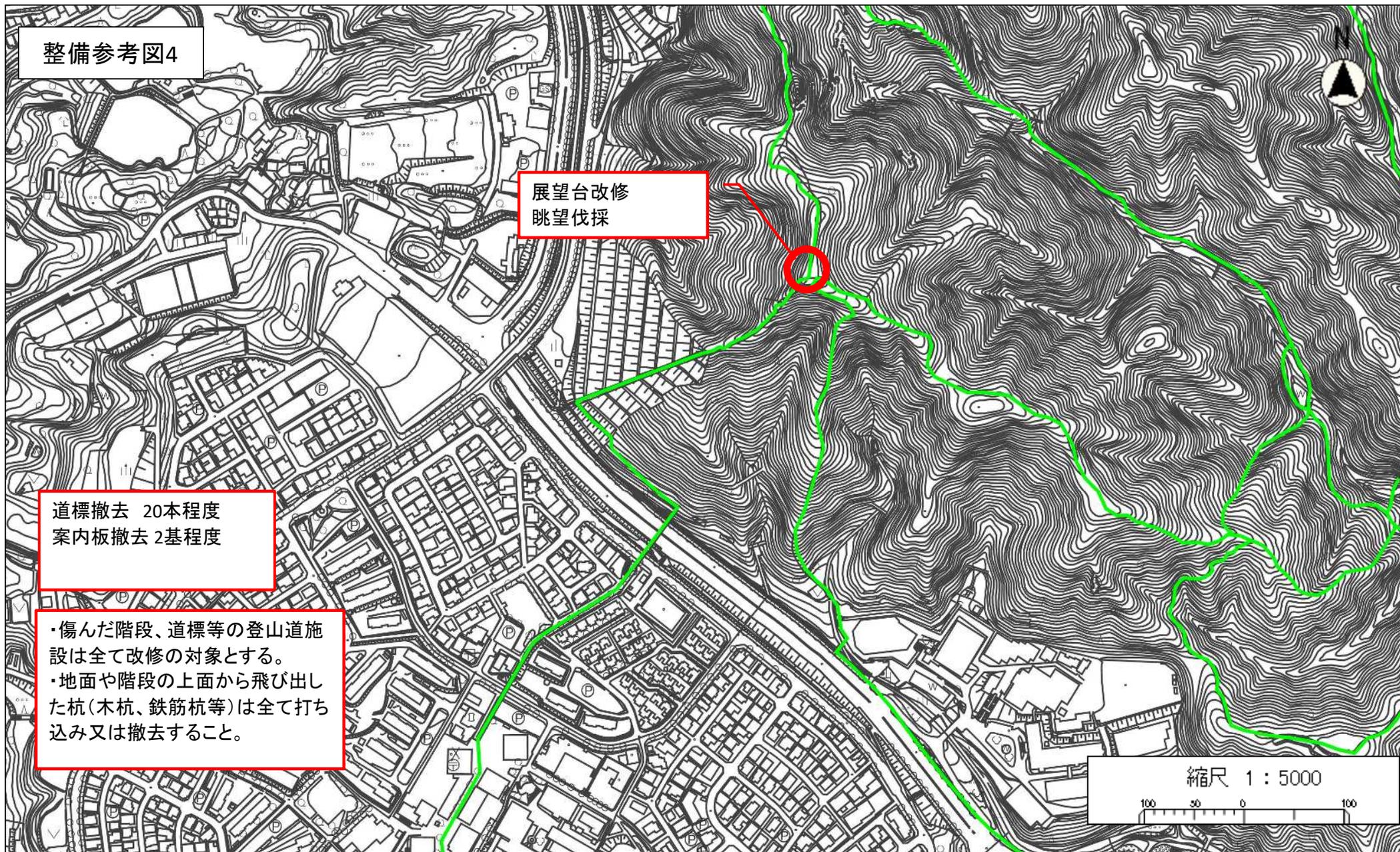
展望台改修
眺望伐採

道標撤去 20本程度
案内板撤去 2基程度

- ・傷んだ階段、道標等の登山道施設は全て改修の対象とする。
- ・地面や階段の上面から飛び出した杭(木杭、鉄筋杭等)は全て打ち込み又は撤去すること。

縮尺 1 : 5000

100 50 0 100



登山道施設台帳作成要領

1. 施設台帳の構成

- ① 健全度調査表
- ② 施設一覧表（測点順、工種順）
- ③ 位置図
- ④ 施設配置図
- ⑤ 地番割込図
- ⑥ 施設調書
- ⑦ 地番参考図
- ⑧ 法務局調査（公図、測量図、全部事項証明書）

※ 別紙「既存登山道施設台帳」参照

※ 上記のうち、①、②、④、⑥を更新し、その他既存資料とともに取りまとめることとする。

2. 作業詳細

- ・ 上記構成に沿って、別紙様式例を参考に作成する。（既存データを更新するものとする。）
- ・ ハイキング道に設置する、階段(K)・案内板(A)・橋梁(H)・道標(D)、ベンチ(B)等各施設について、位置・規格寸法・材質等を調査し、施設毎に台帳(写真貼付)として整理する。
- ・ 石柱や道標、階段等、既存の施設があれば全て上記と同様に記載する。既存施設については、劣化度を施設調書の調査結果欄に記載する。（更新を行う施設については、施工後の状態を記載すること。）
- ・ 各施設について、種類ごとに管理番号を付ける。（K-1、A-1、…等）
- ・ GPS 機能付きのカメラを使用し、各施設の位置情報を記録する。

既存登山道施設台帳

※既存の台帳の抜粋したものです。
(すべてのページを網羅していません。)

ハイキング道調査・台帳修正業務その1

六甲全山縦走路 区間 05-150

起点 横尾南公園（須磨区横尾町4丁目）

終点 須磨浦公園（須磨区西須磨字鉄拐）

延長 5.77km

令和元年度

神戸市建設局公園部森林整備課
栄和測量設計株式会社

ハイキング道調査・台帳修正業務その1
六甲全山縦走路 区間 05-150

起点 横尾南公園（須磨区横尾町4丁目）

終点 須磨浦公園（須磨区西須磨字鉄拐）

延長 5.77km

目 次

※	データ	DVD	1	枚
1	健全度調査表			A4-7枚
2	施設一覧表（測点順）			A4-7枚
3	施設一覧表（工種順）			A4-7枚
4	位置	図		A3-1枚
5	施設配置	図		A1ロング-1枚
6	地番割込	図		A1ロング-1枚
7	施設調査	書		A4-204枚
8	地番参考	図		A3-10枚
9	法務局調査（公図）			A3-39枚
10	法務局調査（測量図）			A3-26枚
11	法務局調査（全部事項証明書）			A4-38枚

六甲全山縦走路（05-15）施設健全度調査表

健全度総合判定：公園施設管理基準

A：重要部材に異常があり、大規模な修繕または破損し更新が必要（使用不可）
 B：重要な箇所部分に部分的な異常があり、部分修繕が必要（使用不可、場合により使用可）
 C：部分的に異常があり、部分修繕が必要（使用可）
 D：健全であり、修繕の必要が無い（使用可）

番号	測点	記号	施設番号	名称	材質・形状	備考	点検記録	判定	点検年月日
1	0	ㄱ	H-10	橋梁	コンクリート床版橋 W=5000 L=2500 t=300 高欄・手摺付き		設置状態良好	D	R1.7.6
	0	☒	D-10	道標			令和元年7月調査で亡失確認		R1.7.6
2	0	ㄱ	A-10	案内板	柱：石材角柱 板面：アルミ板	「背山散策路横尾道案内図」 西部建設事務所設置	設置状態良好	D	R1.7.6
3	0	☒	D-20	道標	木製 角柱	119番通報プレート ち1-14-1	設置状態良好	D	R1.7.6
令和元年7月調査により、No.0~31までコース変更を確認した（延長は89.2m減少する）									R1.7.6
		ㄱ	B-10	ベンチ			令和元年7月調査で亡失確認		R1.7.6
		ㄱ	B-20	ベンチ			令和元年7月調査で亡失確認		R1.7.6
		☒	D-30	道標			令和元年7月調査で亡失確認		R1.7.6
		☒	D-40	道標			令和元年7月調査で亡失確認		R1.7.6
4	0	---	S-10	柵	擬木 H=850 L=33,000		設置状態良好	D	R1.7.6
5	0	###	K-10	階段	擬木階段 W=1,000 50段		設置状態良好	D	R1.7.6
6	0	---	他-10	土留柵	擬木板柵 H=200 L=56,000		設置状態良好	D	R1.7.6
7	0	☒	D-31	道標	木製 角柱	119番通報プレート ち1-15-37	設置状態良好	D	R1.7.6
8	5	☒	D-41	道標	石材角柱 2面刻み文字 250 ×300×900		設置状態良好	D	R1.7.6
9	10	☒	D-51	道標	木製 角柱	119番通報プレート ち1-15-36	設置状態良好	D	R1.7.6
10	10	ㄱ	A-12	案内板	柱：木製丸柱 板面：プラ板	「ここからの須磨アルプスは・・・気を付けてください」神戸市森林整備事務所	設置状態良好	D	R1.7.6
11	10	###	K-20	階段	丸太階段 W=1,500 15段		設置状態良好	D	R1.7.6
12	15	###	K-30	階段	擬木階段 W=1,500 39段		設置状態良好	D	R1.7.6
13	15	###	K-40	階段	擬木階段 W=1,500 8段		設置状態良好	D	R1.7.6
14	20	###	K-50	階段	丸太階段 W=1,100 15段		設置状態良好	D	R1.7.6
15	20	---	S-20	柵	ロープ柵 H=900 L=8,500		設置状態良好	D	R1.7.6
16	20	###	K-60	階段	擬木階段 W=1,200 41段		設置状態良好	D	R1.7.6
17	20	---	S-30	柵	ロープ柵 H=900 L=24,000		設置状態良好	D	R1.7.6
18	20	###	K-70	階段	擬木階段 W=900 33段		設置状態良好	D	R1.7.6
19	20	---	S-40	柵	ロープ柵 H=900 L=30,000		設置状態良好	D	R1.7.6
20	25	###	K-80	階段	擬木階段 W=1,000 12段		設置状態良好	D	R1.7.6
21	25	###	K-90	階段	擬木階段 W=1,000 8段		設置状態良好	D	R1.7.6
22	25	###	K-100	階段	擬木階段 W=1,000 48段		設置状態良好	D	R1.7.6
23	32	ㄱ	A-13	案内板	支柱：木製丸太 板面：木板 H=1,400 W=600	「六甲全山縦走路」	設置状態良好	D	R1.7.6
24	33	ㄱ	B-21	ベンチ	木製 H=400 W=250 L=2,000		設置状態良好	D	R1.7.6
25	33	ㄱ	A-14	案内板	支柱：木製丸太 板面：木板 H=1,400 W=600	「六甲全山縦走路」	設置状態良好	D	R1.7.6
26	33	ㄱ	B-22	ベンチ	木製 H=500 W=160 L=2,400		設置状態良好	D	R1.7.6
27	33	☒	D-61	道標	木製 角柱	119番通報プレート ち1-15-35	設置状態良好	D	R1.7.6
28	33	ㄱ	A-15	案内板	柱：木製丸柱 板面：プラ板	「ここからの須磨アルプスは・・・気を付けてください」神戸市森林整備事務所	設置状態良好	D	R1.7.6
29	33	ㄱ	B-23	ベンチ	木製 H=300 W=200 L=2,000		設置状態良好	D	R1.7.6

施設一覽（測点順）

六甲全山縦走路 05-15

番号	測点	記号	施設番号	名称	材質・形状	備考	点検記録	点検年月日
1	0	⌒	H-10	橋梁	コンクリート床版橋 W=5000 L=2500 t=300 高欄・手摺付き		設置状態良好	R1.7.6
	0	☒	D-10	道標			令和元年7月調査で亡失確認	R1.7.6
2	0	⌒	A-10	案内板	柱：石材角柱 板面：アルミ板	「背山散策路横尾道案内図」 西部建設事務所設置	設置状態良好	R1.7.6
3	0	☒	D-20	道標	木製 角柱	119番通報プレート ち1-14-1	設置状態良好	R1.7.6
令和元年7月調査により、No.0～31までコース変更を確認した（延長は89.2m減少する）								R1.7.6
			B-10	ベンチ			令和元年7月調査で亡失確認	R1.7.6
			B-20	ベンチ			令和元年7月調査で亡失確認	R1.7.6
			D-30	道標			令和元年7月調査で亡失確認	R1.7.6
			D-40	道標			令和元年7月調査で亡失確認	R1.7.6
4	0	===	S-10	柵	擬木 H=850 L=33,000		設置状態良好	R1.7.6
5	0	###	K-10	階段	擬木階段 W=1,000 50段		設置状態良好	R1.7.6
6	0	---	他-10	土留柵	擬木板柵 H=200 L=56,000		設置状態良好	R1.7.6
7	0	☒	D-31	道標	木製 角柱	119番通報プレート ち1-15-37	設置状態良好	R1.7.6
8	5	☒	D-41	道標	石材角柱 2面刻み文字 250 ×300×900		設置状態良好	R1.7.6
9	10	☒	D-51	道標	木製 角柱	119番通報プレート ち1-15-36	設置状態良好	R1.7.6
10	10	⌒	A-12	案内板	柱：木製丸柱 板面：プラ板	「ここからの須磨アルプスは・・・気を付けてください」神戸市森林整備事務所	設置状態良好	R1.7.6
11	10	###	K-20	階段	丸太階段 W=1,500 15段		設置状態良好	R1.7.6
12	15	###	K-30	階段	擬木階段 W=1,500 39段		設置状態良好	R1.7.6
13	15	###	K-40	階段	擬木階段 W=1,500 8段		設置状態良好	R1.7.6
14	20	###	K-50	階段	丸太階段 W=1,100 15段		設置状態良好	R1.7.6
15	20	---	S-20	柵	ロープ柵 H=900 L=8,500		設置状態良好	R1.7.6
16	20	###	K-60	階段	擬木階段 W=1,200 41段		設置状態良好	R1.7.6
17	20	---	S-30	柵	ロープ柵 H=900 L=24,000		設置状態良好	R1.7.6
18	20	###	K-70	階段	擬木階段 W=900 33段		設置状態良好	R1.7.6
19	20	---	S-40	柵	ロープ柵 H=900 L=30,000		設置状態良好	R1.7.6
20	25	###	K-80	階段	擬木階段 W=1,000 12段		設置状態良好	R1.7.6
21	25	###	K-90	階段	擬木階段 W=1,000 8段		設置状態良好	R1.7.6
22	25	###	K-100	階段	擬木階段 W=1,000 48段		設置状態良好	R1.7.6
23	32	⌒	A-13	案内板	支柱：木製丸太 板面：木板 H=1,400 W=600	「六甲全山縦走路」	設置状態良好	R1.7.6
24	33	▢	B-21	ベンチ	木製 H=400 W=250 L=2,000		設置状態良好	R1.7.6
25	33	⌒	A-14	案内板	支柱：木製丸太 板面：木板 H=1,400 W=600	「六甲全山縦走路」	設置状態良好	R1.7.6
26	33	▢	B-22	ベンチ	木製 H=500 W=160 L=2,400		設置状態良好	R1.7.6
27	33	☒	D-61	道標	木製 角柱	119番通報プレート ち1-15-35	設置状態良好	R1.7.6
28	33	⌒	A-15	案内板	柱：木製丸柱 板面：プラ板	「ここからの須磨アルプスは・・・気を付けてください」神戸市森林整備事務所	設置状態良好	R1.7.6
29	33	▢	B-23	ベンチ	木製 H=300 W=200 L=2,000		設置状態良好	R1.7.6

施設一覽 (工種別)

六甲全山縦走路 05-15

番号	測点	記号	施設番号	名称	材質・形状	備考	点検記録	判定
1	0	円	A-10	案内板	柱：石材角柱 板面：アルミ板	「背山散策路横尾道案内図」 西部建設事務所設置	設置状態良好	D
2	10	円	A-12	案内板	柱：木製丸柱 板面：プラ板	「ここからの須磨アルプスは・・・気を付けてください」 神戸市森林整備事務所	設置状態良好	D
3	32	円	A-13	案内板	支柱：木製丸太 板面：木板 H=1,400 W=600	「六甲全山縦走路」	設置状態良好	D
4	33	円	A-14	案内板	支柱：木製丸太 板面：木板 H=1,400 W=600	「六甲全山縦走路」	設置状態良好	D
5	33	円	A-15	案内板	柱：木製丸柱 板面：プラ板	「ここからの須磨アルプスは・・・気を付けてください」 神戸市森林整備事務所	設置状態良好	D
6	52	円	A-16	案内板	アルミ板 ロックボルト止め	「高倉山・鉢伏山→ 全山縦走路」 方向矢印が誤っている	方向矢印が逆になっており、 撤去が望ましい	B
7	53	円	A-17	案内板	アルミ板 ロックボルト止め	「一高取山・妙法寺駅 高倉山・鉢伏山 → 全山縦走路」	設置状態良好	D
8	54	円	A-18	案内板	アルミ板 ロックボルト止め	「一高取山・妙法寺駅 全山縦走路」	設置状態良好	D
9	80	円	A-19	案内板	支柱：木製角材 板面：木板 H=1,000 W=550	「須磨アルプス→ 六甲全山縦走路 一高倉台・鉢伏山」	設置状態良好	D
10	119	円	A-35	案内板	支柱：木製丸太 板面：木板 H=2,000 W=1,250	「栴尾山周辺登山道案内図」 神戸市建設局森林整備事務所 2019年1月設置	設置状態良好	D
11	122	円	A-41	案内板	支柱：丸太 板面：木板 H=1,100 W=800	「鉢伏山・鉄扇山・高倉台→」	設置状態良好	D
12	122	円	A-42	案内板	支柱：丸太 板面：木板 H=1,200 200×540	「落石注意」	一部破損、撤去が望ましい	C
13	122	円	A-44	案内板	支柱：丸太 板面：木板 H=1,200 200×540	「落石注意」	設置状態良好	D
14	125	円	A-46	案内板	金属プレート ボルト止め 200×600	「全山縦走路」	設置状態良好	D
15	132	円	A-47	案内板	柱：木製丸柱 板面：プラ板	「ここからの須磨アルプスは・・・気を付けてください」 神戸市森林整備事務所	設置状態良好	D
16	140	円	A-48	案内板	高欄添架 240×510	「六甲全山縦走路」	設置状態良好	D
17	140	円	A-49	案内板	高欄添架 240×510	「六甲全山縦走路」	設置状態良好	D
18	153	円	A-50	案内板	柱：鋼材角柱 板面：350×550	「一須磨浦公園・おらがやま山頂」	塗装劣化により文字判読が難しい	C
19	153	円	A-60	案内板	街灯柱添架 板面：450×600	「注意 公園内にバイク乗り入れ禁止」 西部建設事務所	設置状態良好	D
20	153	円	A-65	案内板	柱：鋼材角柱 板面：350×550	「↑おらが茶屋」	設置状態良好	D
21	167	円	A-73	案内板	柱：鋼製 1,560 板面：600×900	「野生動物に注意！！」	設置状態良好	D
22	168	円	A-80	案内板	柱：鋼製 1,530 板面：900×1,200	「六甲全山縦走路 平面図・縦断面図」	設置状態良好	D
23	169	円	A-83	案内板	柱：鋼製 1,730 板面：80×900×890	「ハイキングコース案内図 平面図・縦断面図」	設置状態良好	D
24	170	円	A-85	案内板	街灯添架 パネル3枚	「六甲全山縦走路」 「TOILET」 「おらが茶屋→200m」	設置状態良好	D
25	185	円	A-90	案内板	柱：鋼製 1,220 板面：2×450×600	「ウバメガシ 説明板」	設置状態良好	D
26	195	円	A-100	案内柱	コンクリート擬木 φ200×900	「勢揃松」	設置状態良好	D
27	209	円	A-115	案内板	柱：鋼製 1,000 板面：30×600×900	「ハイキング道・車道・六甲縦走路 平面図」	設置状態良好	D
28	224	円	A-120	案内板	柱：鋼製 2,000 板面：30×850×1500	「山いっぱい緑を育てよう」	設置状態良好	D
29	232	円	A-130	案内板	柱：木製 2,300 板面：20×1000×1500	「ハイキングコース案内図」	設置状態良好	D
30	258	円	A-140	案内板	柱：木製 2,300 板面：20×1000×1500	「ハイキングコース案内図」	設置状態良好	D
1	33	□□	B-21	ベンチ	木製 H=400 W=250 L=2,000		設置状態良好	D
2	33	□□	B-22	ベンチ	木製 H=500 W=160 L=2,400		設置状態良好	D
3	33	□□	B-23	ベンチ	木製 H=300 W=200 L=2,000		設置状態良好	D
4	42	□□	B-80	ベンチ	木製 H=400 W=360 L=2,000		設置状態良好	D

施設調書 (六甲全山縦走路 05-15)

66 頁

施設番号	他-50	位置図 1/2,500
施設名	展望台	
規格	桐尾山展望台 木製 3,500×3,600×3,600 階段 φ200×3500×2+φ150×1800×9 手摺付 ベンチ 木製φ200×450×2×2+180×350×1800×2 木製デッキ 手摺付	
設置年月日	年月日不明	
設置経緯		
備考		

現況写真



現況調査

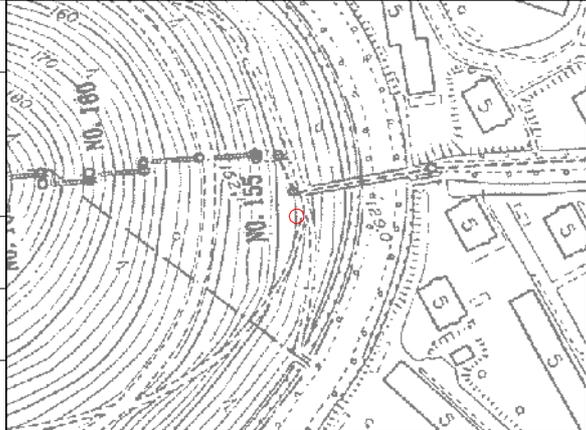
年・月・日	調 査 結 果
2019.07.06	設置状態良好

補修経歴

年・月・日	補 修 内 容

施設調書 (六甲全山縦走路 05-15)

119 頁

施設番号	A-60	位置図 1/2,500
施設名	案内板	
規格	案内板 「注意」 支柱 木製 60×60×1450 パネル 木製 10×450×600 「公園内にバイク乗り入れ禁止！」	
設置年月日	年月日不明	
設置経緯		
備考	西部事務所	

現況写真



現況調査

年・月・日	調査結果
2019.07.26	設置状態良好

補修経歴

年・月・日	補修内容

施設調書 (六甲全山縦走路 05-15)

148 頁

施設番号	D-210	位置図 1/2,500
施設名	道標	
規格	木柱 □120×1650 茶色着色 2面白文字 ① →高倉台を経て横尾山 全山縦走路 ② ←旗振山を経て鉢伏山 全山縦走路	
設置年月日	年月日不明	
設置経緯		
備考	119通報プレート ち1-15-20	

現況写真



現況調査

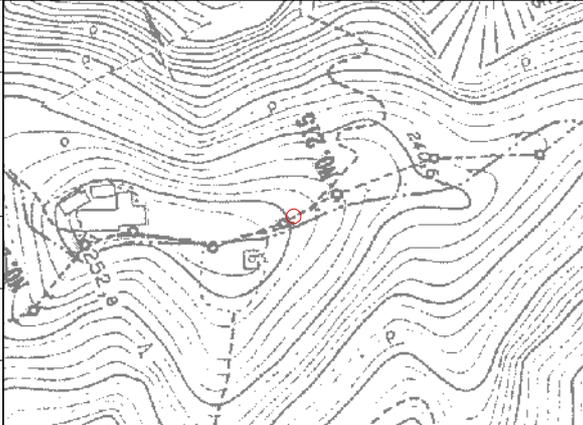
年・月・日	調 査 結 果
2019. 08. 02	設置状態良好

補修経歴

年・月・日	補 修 内 容

施設調書 (六甲全山縦走路 05-15)

168 頁

施設番号	K-470	位置図 1/2,500	
施設名	階段		
規格	丸太階段 W=1400 H=100 24段 丸太 φ100×1400×24 丸太杭 φ60×500×2×24		
設置年月日	年月日不明		
設置経緯			
備考			

現況写真



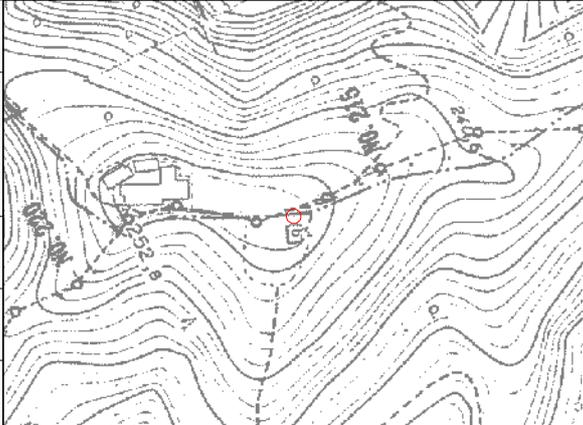
現況調査

年・月・日	調査結果
2019.08.02	設置状態良好

補修経歴

年・月・日	補修内容

施設調書 (六甲全山縦走路 05-15)

施設番号	B-230	位置図 1/2,500
施設名	ベンチ	
規格	木製ベンチ H=450 W=400 L=1,800×4 支柱 鋼材 φ60×300×2×3×4+2×60×100×420×3×4 座面 木製 60×130×1800×3×4	
設置年月日	年月日不明	
設置経緯		
備考		

現況写真



現況調査

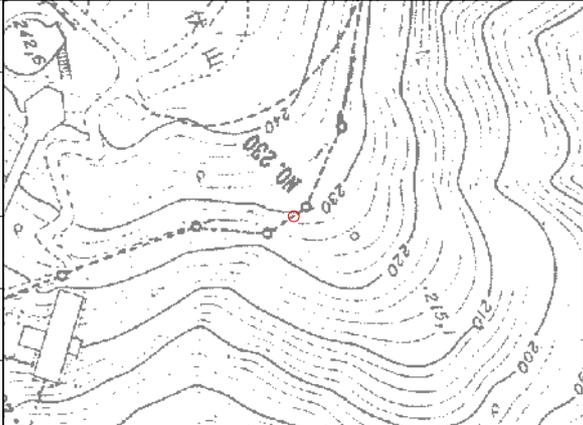
年・月・日	調 査 結 果
2019. 08. 02	設置状態良好

補修経歴

年・月・日	補 修 内 容

施設調書 (六甲全山縦走路 05-15)

183 頁

施設番号	K-510	位置図 1/2,500
施設名	階段	
規格	擬木階段 W=1500 H=130 6段 擬木丸太 φ100×1500×6 擬木杭 φ60×500×2×6	
設置年月日	年月日不明	
設置経緯		
備考		

現況写真



現況調査

年・月・日	調 査 結 果
2019.08.02	設置状態良好

補修経歴

年・月・日	補 修 内 容

施設調書 (六甲全山縦走路 05-15)

199 頁

施設番号	A-140	位置図 1/2,500
施設名	案内板	
規格	案内板 「ハイキングコース案内図」 支柱 木製 φ200 2300×2+1400×2+750×1 横木 木製 φ200×1600×2 パネル 20×1000×1500	
設置年月日	年月日不明	
設置経緯		
備考	神戸市・(公財)神戸市公園緑化協会	

現況写真



現況調査

年・月・日	調査結果
2019.08.02	設置状態良好

補修経歴

年・月・日	補修内容